

厚生文教委員会報告書

令和4年2月22日

備前市議会議長 守井秀龍 殿

委員長 中西裕康

令和4年2月22日に委員会を開催し、次のとおり議決したので議事録を添えて報告する。

記

| 案 件 | 調査結果 | 少数意見 |
|-------------------------------|------|------|
| 議案第2号 令和3年度備前市病院事業会計補正予算（第2号） | 修正可決 | あり |

《 委員会記録目次 》

| | |
|------------|---|
| 招集日時・出席委員等 | 1 |
| 開会 | 2 |
| 議案第2号の審査 | 2 |
| 閉会 | 7 |

厚生文教委員会記録

| | | | | |
|-------|----------------------|----------------|----------------------|------------|
| 招集日時 | 令和4年2月22日（火） | | 第1回定例会（初日）休憩中 | |
| 開議・閉議 | 午後1時20分 | 開会 | ～ | 午後1時54分 閉会 |
| 場所・形態 | 委員会室 | 会期中（第1回定例会）の開催 | | |
| 出席委員 | 委員長 | 中西裕康 | 副委員長 | 西上徳一 |
| | 委員 | 立川 茂 | | 森本洋子 |
| | | 山本 成 | | 青山孝樹 |
| | | 藪内 靖 | | |
| 欠席委員 | | なし | | |
| 遅参委員 | | なし | | |
| 早退委員 | | なし | | |
| 列席者等 | 議長 | 守井秀龍 | | |
| 傍聴者 | 議員 | 掛谷 繁 | 尾川直行 | 石原和人 |
| | 報道関係 | あり | | |
| | 一般傍聴 | なし | | |
| 説明員 | 病院総括事務長 兼 日生病院事務長 | 濱山一泰 | 備前病院事務長 兼 さつき苑事務長 | 尾崎嘉代 |
| | 吉永病院事務長 | 藤澤昌紀 | | |
| 審査記録 | 次のとおり | | | |

午後1時20分 開会

○中西委員長 それでは、ただいまの御出席は7名でございます。定足数に達しておりますので、これより厚生文教委員会を開会いたします。

直ちに本委員会に付託されました議案の審査を行います。

***** 議案第2号の審査 *****

それでは、議案第2号令和3年度備前市病院事業会計補正予算（第2号）についての審査を行います。

細部説明は4ページでございます。今日は委員会資料、病院事業についての資料が出ております。

それでは、本案について質疑を希望される方の発言を許可いたします。

○青山委員 日頃、このオミクロン株に対しても献身的に医療に関わっておられる方には敬意を表します。

そこで、議案書の26ページの他会計補助金があります。このことについてお伺いしたいんですが、もう一つ、今日出されました病院事業の説明書、この中で11月の委員会でもそうだったんですけど、入院患者の受入れ体制に関わっているという、この入院患者の受入れというところにこだわられている理由を教えてください。

○濱山病院総括事務長 前回と同じになるかとは思いますが、備前市内でコロナ患者さんの入院患者受入れ体制を取っているのが市立3病院で、その中で備前病院が入院患者さんを、その側面的に吉永病院、日生病院が応援体制を構築しているということでございます。

○青山委員 そういうふうな説明が前回もあったんですけど、市立備前病院が中心になっておられるということで、あと日生病院、吉永病院から不定期になんでしょうか、手伝いに来られると。全くそれに関わられてない日生病院、吉永病院の職員さんもおられると思うんですけど、一律にされとるとするのは、どういうことでそうされとんですか。

○濱山病院総括事務長 そういった協力体制を病院事業で取っているということで御理解いただきたいと思います。

○青山委員 私は、私立、民間の病院も含めて慰労金を出されたらどうかというふうなことの中で、公立病院だけというのは不平等感があるんじゃないかと述べさせていただいたんですけど、例えば民間の病院さんにしても、発熱外来とかそういったようなところで陽性患者の方と接するとか、感染するおそれがあるということもあると思うんですけど、そういうふうな民間の医師の方ですね、そういったような方もどうにかしようという発想はなかったんでしょうか。

○濱山病院総括事務長 その点につきましては、支給していただく公立病院の職員の立場としては、民間病院さんのほうの支給に関して答えることは差し控えたいと思います。

○青山委員 その際に、医師会といったようなところとの連携、調整といいますか、そういうことはなされたのかということで、その当時はなされていないということだったんですけど、その

後、調整、話合いのほうをされたということはありませんか。

○濱山病院総括事務長 その点につきましては、病院のほうから医師会のほうへ、そういったお伺いは立ててはおりません。

○青山委員 同じ形が出てきているんですが、私どもが疑念に思っていた、民間病院のほうへの働きかけとか、そういったようなものもなされずに、また同じような形が出てきているというのに対しては理解できない部分があるんですが。取りあえず、いいです。

○藪内委員 私どもは特に反対ということではなくて、前から言っているのは公平性の問題をずっと言っているわけで、公立病院と同じような危険性は、ほかの特養とかいろんなところにもあると思うんですけど、個人病院に対してそれが出ないということが、何か同じ慰労金であるとか、感謝の意を込めたものであるのであれば、なぜそこで同じように支給するという考えが一切出ませんでしたか。

○濱山病院総括事務長 その点については、病院の立場から言わせていただければ、答弁は控えたいと思います。

○藪内委員 病院の側から、よその病院のことは言えないと思うんですが、本来もう少し、上が決められたことかどうか分かりませんが、やはり同じように、同じ人間が頑張っていて、それに対して慰労金を出すのであれば、公も私も関係ないと思うんでね。今もその病院の担当者の方にこれを幾ら聞いても駄目なんでしょうけど、ただそれが出なかったことが、前日も言ったにもかかわらず、そういう意見も何も出なかったことが非常に残念で仕方ないんですけど、これは意見です。

○森本委員 私は、発熱外来を受けておられるのは民間もを受けておられるんですけど、入院患者を受け入れているというのはやはり備前病院なので、この事業は別に問題ないかと思っています。ただ、前は地方創生臨時交付金が充当される可能性があるということだったんですけど、今回の資料を見ていただいたら、充当して書いてあるので、決定して、これが使えるということで御理解しとってよろしいですか。

○濱山病院総括事務長 お見込みのとおりです。

○森本委員 前回いただいた資料と若干、備前病院と日生病院と人数が違っているんですけど、人数が変更している理由だけ教えてください。

○濱山病院総括事務長 備前病院は2名の方が退職で、2名減っています。日生病院は1月1日から2名の職員が増えているので、その分が増えています。

○西上副委員長 新型コロナウイルス感染症での入院患者さんの受入れ体制ということで、看護師さんはメンタル面でも非常に厳しかったんじゃないかなと思うんですけども、この看護師さんの働く環境でのメンタルヘルスの在り方、そしてメンタルサポートの体制整備というのはいかがでしょうか。

○中西委員長 暫時休憩。

午後1時28分 休憩

午後1時29分 再開

○中西委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

○尾崎備前病院事務長 メンタルヘルス、メンタルケアの部分になりますけど、看護師からはいつでも、何でも言ってきていただけるような体制っていうのは、病院の中では整えておりますし、常にコロナウイルスに関わっている看護師に対しては、ケアをさせていただいている状況にはさせていただいております。特に何をしているっていうような、具体的なことはないですが、出てくる要望に関してはもう真摯に受け止めて、なるべく負担のないような形にさせていただくということ、あと勤務に関しても1か月交代で、同じ者が何か月も同じ業務に携わらないとか、そういうふうな勤務割もさせていただいております。そのために日生病院であるとか、吉永病院であるとか、看護師さんの派遣も常に構築させていただいて、そういう体制も整えていただいているっていう部分でのケアをさせていただいております。

それと、もう一点よろしいですか。そういう従事者に関して、病院として保険にも入らせていただいております。罹患した場合には保険が下りるような形のものにも、これは3病院ともなんですけど、入らせていただいて、そういう手当でもできるようにはさせていただいております。

○西上副委員長 ありがとうございます。大変厳しい環境の中で看護師さんが働いておるということで、このようなことをさせていただくというのは本当にいいことだと思います。

また、民間に関しては、民間の病院のオーナーの方がそれに応じてお支払いすればよいことで、備前市立3病院のオーナーは備前市ということで、このシステム、この事業に私は賛成であります。

○森本委員 すいません、あともう一点お聞かせください。

日生と吉永から職員の方を派遣していることなんですけど、派遣された後、日生と吉永の病院の方は人数が減るわけですから、その点それぞれの病院は負担的には増えていると思うんですけど、どのような状況かお知らせください。

○藤澤吉永病院事務長 委員おっしゃるとおり、負担は増えておるんですが、そこはほかの残りの職員でカバーしながら、一生懸命サポート、カバーをしている状況であります。

○立川委員 大変お世話になっております。ありがとうございます。

2点ほどお尋ねをしておきたいんですが、先ほど来出ておりますが、備前病院の役割ですね、2次医療圏内での役割、人員を含んで医療資源等々を考えると、当然の役割なのかなという気がして、前回、不公平感があるよというお話をさせていただいたんですが、ここに書いておりますように、先ほど人員派遣のできる体制を構築しているというお話なんですけど、これは看護師さん業務ということを考えると、大変失礼な言い方をしますが、備前病院、日生病院、それから吉永病院、これは看護の実務については大丈夫なんでしょうけど、看護から発生するカルテであったり、サマリーであったり、例えばカンファの中でも全部やり方が違うと思うんですよね。

これ、ここは備前病院のやり方ですというふうなところで看護師さんが仕事をする、これは即戦力としては大変厳しい環境だと思います。

お聞きしたいのは、例えば備前病院へ行って業務をしたよというふうな研修なんかはされたんでしょうか、どうでしょうか。

○濱山病院総括事務長 その点につきましては、以前、備前病院に勤務した職員を日生病院、吉永病院から派遣しています。ですから、その辺のちょっと違うようなやり方とか、そういうことの不具合は出ておりません。

○立川委員 備前病院におったナースさんということで、その辺も対応できるだろうということのお話だったので、それはそれでありありがとうございます。

2点目は、この人件費といいますか、病院職員に対してだけということで、前回も不公平感というようなお話をしたんですけど、今回、交付金が財源に充てられております。交付金が確定しましたよと。この交付金、例えばこれもうこらえてくださいということになれば、交付金は返還されるんでしょうか。時間的に、何かほかに使い道を考えてという形はできるんでしょうか、できないんでしょうか。

○濱山病院総括事務長 補正予算のヒアリングのときには、この528万円を全額使い切らなきゃいけないというような説明ではなく、もし仮に残が残っても大丈夫ですよという説明は、病院サイドは受けております。

○立川委員 そしたら、これは繰り出しのほうでお尋ねをしてみます。

ただ、前にこれ、感染症の場合の陰圧装置、簡易型の購入とか、例えば大変極端な言い方をしますが、野戦病院的なテントの診察とかのときに陰圧装置を使うよということで、簡易型の分が100万円か200万円かだったと思うんですけど、こういったものを買うというような考えは全く病院側からはお示しされなかったですか、それだけちょっと教えてください。

○藤澤吉永病院事務長 病院のほうで必要なものは既に購入しているところから、今回は話は出ておりません。ただ、備前病院のほうで入院等をするときそういう装置を購入したということで、話は出ていたと思います。

○中西委員長 ほかにありませんか。よろしいですか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、質疑を終了いたします。

よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、質疑を終結いたします。

ここで暫時休憩いたします。

午後1時37分 休憩

午後1時48分 再開

○中西委員長 休憩前に引き続き委員会を再開いたします。

議案第2号につきましては、立川委員から修正案が提出されております。

修正案提出者の説明を願います。

○立川委員 それでは、議案第2号令和3年度備前市病院事業会計補正予算（第2号）修正案を提出をさせていただきます。

第2条を次のとおり修正させていただきたい。

収入のほうは病院事業収益、これから528万円を減額し、合計で506万329円、その下、手数料だけ引いておりますので、合計で554万8,888円に修正。支出のほうは528万円全額を削除いただいて、505万1,387円ということで、合計が554万7,146円というふうに修正をさせていただきたいと思います。

まず、理由につきましては、前回提案時の意見、我々が、私が意見をさせていただいたんですが、2次医療圏内での役割、医療資源であったり、人員を含む、これは圧倒的に市立病院が上でございます、ということは市立病院の本来の役割だと。この前、オリンピックが終わりましたけども、カーリングが大変人気やったんですけども、やっぱりポジションによって、リードはリードの役目、最終はスキップの役目ということで、民間病院もそうなんです、診療所、医院等々もこれ一番怖いのは、そういうところなんです。今のお話を確認してみますと、確定診断がついていない患者さんを扱うのが一番怖いんですね。診断がつけば、例えばマラリアにしても結核にしても診断さえつけば、今の医療では必ず対処方法があるんです。というところから、やっぱり役割について全く改善点が見られなかったというのが大変残念なところでございます。それが不公平感、その他、前回にお示ししたお考えを全く酌み入れてくれなかったのが残念だということ、修正のほうをさせていただきたいと思います。

○中西委員長 修正案提出者の説明が終わりました。

これより修正案の提出者に対する質疑を行います。

ございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

質疑を打ち切りまして御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

御異議なしと認めます。よって、修正案の提出者に対する質疑を終了いたします。

以上で議案第2号に対する全ての質疑を終了いたします。

これより議案第2号を採決いたします。

なお、採決につきましては、まず修正案についての採決を行い、その修正案が可決された場合は、続いて修正部分を除く残りの原案について採決を行います。修正案が否決された場合は、原案について採決を行います。

それではまず、修正案について採決いたします。

修正案に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

3人。可否同数であります。よって、委員会条例第17条の規定により委員長が本修正案に対する可否を裁決いたします。

委員長は、本修正案について可決と裁決いたします。

続いて、ただいま修正可決した部分を除く残りの原案について採決いたします。

修正部分を除くその他の部分については原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

挙手多数であります。よって、修正部分を除くその他の部分については原案のとおり可決されました。

続いて少数意見の留保を希望される方の発言を許可いたします。

○**西上副委員長** 議案第2号令和3年度備前市病院事業会計補正予算（第2号）。

新型コロナウイルス感染者の入院を受け入れる病院として、備前病院が対応いたしました。看護師も自らの感染、そして家族への感染が不安で精神的につらい中での業務、また看護職の家族に向けられた差別や偏見もあったと聞いています。また、市内の病院において入院患者の受け入れ体制に関わっているのは備前病院であり、また備前病院は受け入れる病院として、日生病院並びに吉永病院は人員派遣のできる体制を構築しているとあります。財源についても地域振興費補助金、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金が使えるところですので、1人当たりの慰労金1万6,000円は妥当だと言えます。

以上、少数意見を留保いたします。

○**中西委員長** ただいまの意見に賛成の方の挙手を求めます。

〔賛成者挙手〕

所定の賛成者がおりますので、少数意見は留保されました。

少数意見報告書を作成の上、直ちに委員長まで提出願います。

ほかに少数意見の留保を希望される方の発言を許可します。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

以上で議案第2号の審査を終了いたします。

皆さん、どうも御苦労さまでした。

午後1時54分 閉会